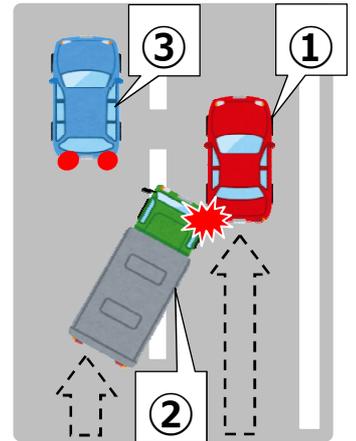


交通事故にはご用心!

今回の安全ミニ通信は、通勤中に起こった事故とその注意点についてのお話です。
表面では最近の事例、裏面では事故が起こりやすい交差点・T字路の事例を紹介しています。
各事例を参考に、交通事故でケガをしないよう気をつけましょう。

●マイカー（車）出勤中の事故

車で右側車線を走行中（①）、トラック（②）に車両の左後部をぶつけられ、
首のむちうちを負った。トラックの運転手は、前方の車両（③）が
減速したことに気づくのが遅かったため、慌てて左から急に車線変更した。



前方の車との車間距離を十分に確保し、
急な減速や停車に気をつけて運転しましょう。

●バイク（原付）帰宅中の事故

バイクで1車線でガードレールがない道路を **夜間に走行中**、後方からの車を避けようと
左側へ寄せた際、**アスファルトと土の境目にタイヤがはまり**、
右側を下に転倒。右肩鎖骨を骨折した。



夜間の道路は暗くて見通しが悪いので、
周りには特に気をつけて運転しましょう。

●徒歩帰宅中の事故

徒歩で駅の階段を降りる際、**階段を一段踏み外して**転倒し、左足関節を捻挫した。



階段を利用する際は、手すりを持つなど
足元に気をつけて慎重に降りましょう。

【裏面に続く】

◎ 信号のない交差点の事故

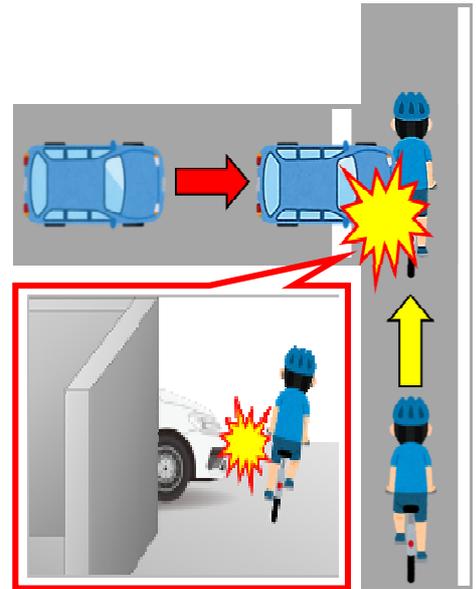
車で交差点を走行中、右側から直進する車と接触して横転し、左足のひざと右腕を切傷した。交差点は 一時停止を示す標識が設置されていたが、被災者は 一時停止せずに交差点を通行しようとした。



道路標識は事故を防ぐ目的で設置されています。道路標識の指示は必ず守りましょう。

◎ 信号のないT字路の事故

自転車でT字路を走行中、左の脇道から出てきた車と接触して右側へ転倒し、右足を打ち付けて打撲した。脇道には 停止線が引かれていたが、車の運転手は 停止線で止まらずに出ようとした。



交差点やT字路は相手側が気づきにくく、事故に巻き込まれやすい場所です。一時停止を行い、周りに気をつけて進みましょう。

実際に起こった通勤中の事故を確認していかがでしたか？

「自分は大丈夫」という過信 や 「出勤時間に遅れる」という焦り は事故につながります。

下記のポイントを確認し、事故でケガをしないように気をつけて通勤しましょう。

通勤中に気をつけること

- ★ 道路標識の指示に従い、交通ルールを守る。
- ★ 「事故につながるかもしれない」と危険を意識し、周りをよく確認する。
- ★ 常に余裕を持った通勤を心掛ける。
- ★ 交差点やT字路など見通しの悪い場所は一時的に停止し、左右を確認する。



★ 今月の安全衛生川柳 ★
通勤時 行きも帰りも 安全に

北大阪支店 スタッフさんの作品

